

# UKAの適応

2019/6/3 作成

# ACLの状態

- ACL切除: 前方動揺性が著名に増加

→UKA施行するとsliding motionが増加する

Argreson et al 2002 Arthroplasty

- 術中のACLの状態によって耐久性に差は無い

Boissonneault et al 2013 KSSTA

UKAの長所であるACL,PCL温存での正常kinematicsを目指すという観点から考えると、ACLが残存している膝がUKAの適応と考えるべきである

## PF関節

- PF関節に症状がある場合はTKAを選択する
- X線上のPF-OAはあるが、無症状の時  
→ 無症状であれば臨床成績に影響しない

Brend et al. 2011 Orthopaedics  
Seyler et al. 2009 JOSR

- 術中のPF関節の軟骨変性所見も術後成績に影響を及ぼさない

Song et al. 2016 KSSTA

- \* X線上のPF-OAだけではUKAの除外基準には必ずしも当てはまらない

- 外側fasetの関節裂隙が完全に消失していれば、階段昇降が軽度に困難になった

Hamilton et al. 2017 Bone Joint J

- 膝蓋骨が亜脱臼している症例にUKAを行った場合、下肢機能が低い傾向にあった

Munk et al. 2011 Acta Orthop

# 変形の程度

- 外側関節裂隙が保たれていること
- 外側の骨棘のみであればUKAの臨床成績に影響しない

Hamilton et al. 2017 KSSTA

- 15度以内の変形で矯正可能であれば適応内

Kozinn et al. 1989 JBJS Am

- 外反ストレスをかけた状態で全下肢Xp

%MAが40－50%程度になる症例を理想的な適応

Tashiro et al. 2014 KSSTA

# 肥満

## BMI

- 30以上でも臨床成績に影響を与えない
- 32以上は早期破綻の危険因子
- 35を超えると再置換率が高くなる

\* 高度の肥満は避けたほうがいい

Kuipers et al. 2010 Knee  
Naal et al. 2009 AOTS

Berend et al. 2005 CORR

Bonutti et al. 2011 Arthroplasty

# 年齢

- 若年、高活動性は臨床成績に影響を与えない

Pandit et al. 2011 JBJS

- 若年者は再置換の危険因子 (meta-analysis)

Van et al. 2016 Arthroplasty

- ドイツの保険診療データ

74歳以上に比べて

55歳以下の再置換率 HR: 2.93

55-74歳の再置換率 HR: 1.52

Jeschke et al. 2016 JBJS Am

# 長期成績

■ 20年生存率 74% Argenson et al. 2013 JBJs Am

■ 15年生存率

TKA: 88.7%

Niinimaki et al. 2014 CORR

UKA: 69.6%

## その他

- ステロイド性骨壊死は病巣が広範囲に及び、UKAの適応にならないことが多い

Borus et al. 2008 AAOS

- 特発性骨壊死にはよい適応

Parratte et al. 2007 CORR  
Servien et al. 2008 KSSTA

- 術前MRIでbone marrow lesionは臨床成績に影響を及ぼさない

Jacobs et al. 2016 Arthroplasty

\* 病巣範囲が大きい時は無理にUKAを選択する必要はない

# アライメント、 靱帯バランス

## ■ UKA 破綻の原因

1位;ゆがみ(36%)

Van et al. 2016 Arthroplasty

2位;非置換コンパートメントの変性(20%)

Kim et al. 2012 Arthroplasty

- 術後の外反アライメントは外側のOAを進行させ、再置換のリスクを上げる

Hernigou et al. 2004 CORR

Burnett et al. 2014 Arthroplasty

## ■ UKA早期破綻の原因

脛骨コンポーネントの陥没

Aleto et al. 2008 Arthroplasty

→内側の過負荷は避ける

内反アライメントは内側の骨への負荷が大きくなる

Risser et al. 1997 Pharm Bimed Anal

→%MAが20%以下の症例に再置換が多い

Kennedy et al. 1987 CORR

10度以上の内反ではポリエチレンインサートの摩耗が多い

Burnett et al. 2014 Arthroplasty

# UKA 適応 まとめ

- **ACL intact knee**
- 無症状のレントゲン PF-OAは除外診断にならない  
(PFの外側関節裂隙が消失していれば適応外)
- **矯正可能な15度以内の内反変形**(外側の骨棘は気にしない)
- BMI 32以上は除外
- 74歳以上に比べて → 75歳以上が適応  
55歳以下の再置換率 HR: 2.93  
55-74歳の再置換率 HR: 1.52
- 15年生存率  
TKA: 90%  
UKA: 70%
- 特発性骨壊死は適応○ (ステロイドの使用を確認)
- **%MAが20%以下**の症例は除外